



江別市立病院

医療と経営についてのアンケート調査結果

【最終報告書】

令和 5 年 1 0 月

江 別 市 立 病 院

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 アンケート概要	1
3 回収状況	1
4 留意点	1

II 回答者の基本情報

1 性別【問1】	2
2 年齢【問2】	2
3 居住地域【問3】	2
4 同世帯の15歳未満家族【問4】	3
5 定期受診（2ヶ月に1回）【問5】	3
6 市立病院の利用（2年以内）【問6】	3
7 市立病院以外の医療機関の利用（2年以内）【問7】	4

III 調査結果

1 医療機関への受診状況について	
（1）定期的に受診している医療機関（かかりつけ医）【問8】	4
（2）これまでの入院経験【問9】	4
2 江別市立病院に求められる医療機能について	5
（1）外来診療について【問10】	6
（2）入院診療について【問11】	6
（3）在宅医療について【問12】	6
（4）精神疾患の診療について【問13】	7
（5）脳卒中の診療について【問14】	7
（6）急性心筋梗塞の診療について【問15】	7
（7）糖尿病疾患の診療について【問16】	8
（8）小児医療について【問17】	8
（9）周産期医療について【問18】	8
（10）救急医療について【問19】	9
（11）災害医療について【問20】	9
（12）感染症医療について【問21】	9
（13）健診について【問22】	10
（14）広域連携や産学官連携について【問23】	10

3	江別市立病院として今後注力したい医療機能について	11
(1)	がんの早期発見・早期治療について【問24】	11
(2)	化学療法・在宅ケアの支援について【問25】	12
(3)	手術について【問26】	12
(4)	緩和ケアについて【問27】	12
4	江別市立病院に今後求められる医療機能の重要度について	
(1)	市立病院が担うべき役割について【問28】	13
5	江別市立病院の経営再建（ロードマップ）の取組について	
(1)	経営再建の取組に対する評価【問29】	14
6	江別市立病院の財政状況について	
(1)	減資について【問30】	15
(2)	政策医療を確保するための財政支援について【問31】	16

IV 資料編

アンケート調査票	17~29
----------	-------

I 調査概要

1 調査目的

令和6年4月から5年間を計画期間とした「江別市立病院経営強化プラン」の策定にあたり、市民の皆さんの医療ニーズや医療制度に関する意識を把握し、当院の地域における担うべき役割を明確にするために実施しました。

2 アンケート概要

(1) 調査対象

令和5年5月1日現在、江別市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の男女
2,000人

(2) 対象者抽出方法

無作為抽出

(3) 調査項目

- ・回答者の基本情報（7設問）
- ・回答者の医療機関への受診状況（2設問）
- ・江別市立病院に求められる医療機能（14設問）
- ・江別市立病院として今後注力したい医療機能（4設問）
- ・江別市立病院に今後求められる医療機能の重要度（1設問）
- ・江別市立病院の経営再建（ロードマップ）の取組（1設問）
- ・江別市立病院の財政状況（2設問）
- ・その他（自由記載）

(4) 調査方法

郵送配布の上、下記いずれかの方法で回答

- ・アンケート調査票に記入して郵送
- ・インターネットで回答

(5) 調査期間

令和5年6月26日（月）～令和5年7月21日（金）

3 回収状況

(1) 配布数 2,000件

(2) 回収数 661件

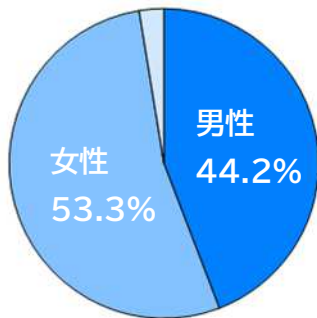
(3) 回収率 33.1%

4 留意点

図表における構成比は、原則として小数点第2位を四捨五入して表示しています

Ⅱ 回答者の基本情報

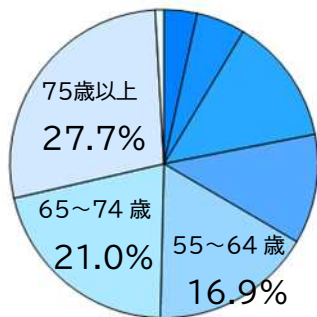
1 性別【問1】



性別	回答数	割合
男性	292	44.2%
女性	352	53.3%
回答しない	17	2.6%
計	661	

回答いただいた方 661 人中、男性が 44.2%、女性が 53.3%でした。

2 年齢【問2】

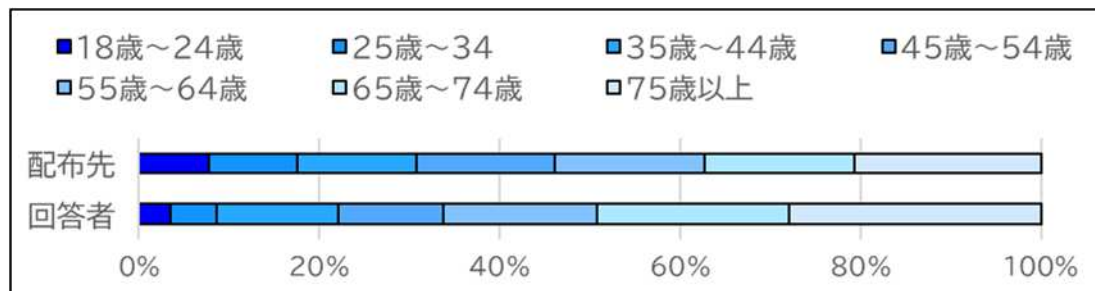


年齢	回答数	割合
18歳~24歳	23	3.5%
25歳~34歳	34	5.1%
35歳~44歳	88	13.3%
45歳~54歳	76	11.5%
55歳~64歳	112	16.9%
65歳~74歳	139	21.0%
75歳以上	183	27.7%
回答しない	6	0.9%
計	661	

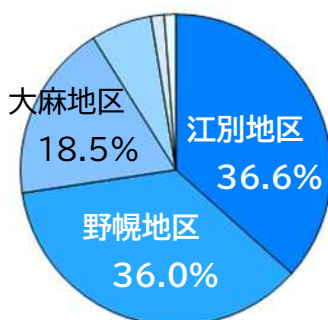
年齢別では、661 人中 75 歳以上の方が最も多く 27.7%を占め、続いて 65 歳~74 歳の方が 21.0%、55 歳~64 歳の方が 16.9%と、年齢が高い順番に回答が多くなりました。

また、年齢が高い方ほど、配布数に対する回答率も高い結果となりました。

【参考】配布先・回答者の年齢別割合



3 居住地域【問3】

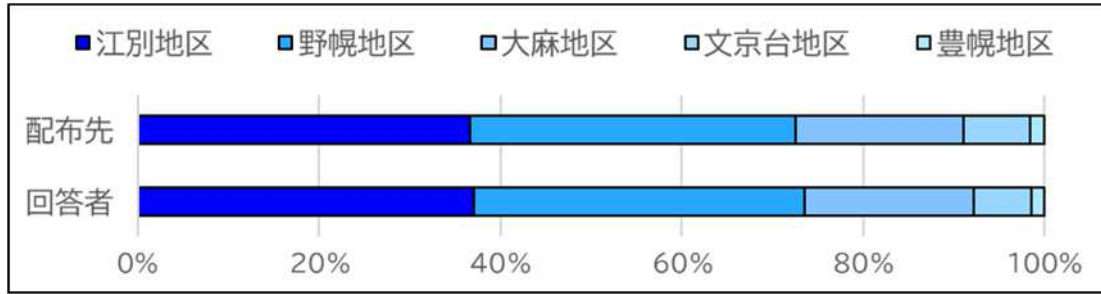


居住地域	回答数	割合
江別地区	242	36.6%
野幌地区	238	36.0%
大麻地区	122	18.5%
文京台地区	42	6.4%
豊幌地区	9	1.4%
回答しない	8	1.2%
計	661	

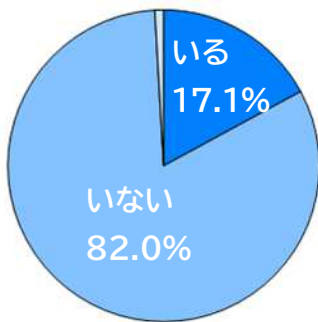
居住地域別では、江別地区が 36.6%、野幌地区が 36.0%、大麻地区が 18.5%でした。

配布割合とほぼ同様の回答割合となりました。

【参考】配布先・回答者の居住地域別割合



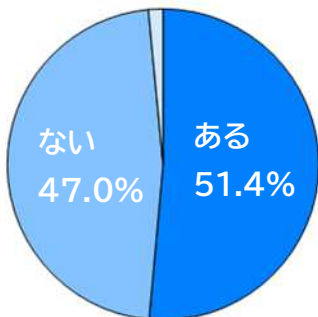
4 同世帯の15歳未満家族【問4】



15歳未満家族	回答数	割合
いる	113	17.1%
いない	542	82.0%
回答しない	6	0.9%
計	661	

同じ世帯内に15歳未満のご家族がいらっしゃるかどうかをお聞きしたところ、「いる」と回答された方は661人中17.1%でした。

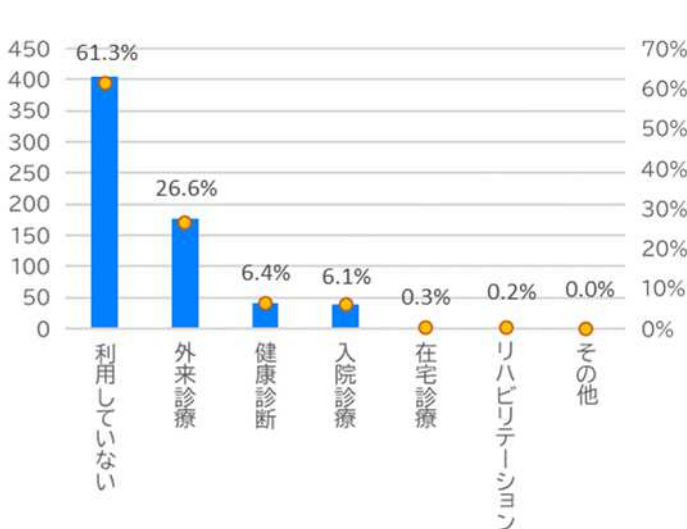
5 定期受診（2か月に1回以上）【問5】



定期受診	回答数	割合
ある	340	51.4%
ない	311	47.0%
わからない	10	1.5%
計	661	

2ヶ月に1回以上の定期受診をされている方は、661人中51.4%の方が該当され、47.0%の方は定期的な受診がない方でした。

6 市立病院の利用（2年以内）【問6】

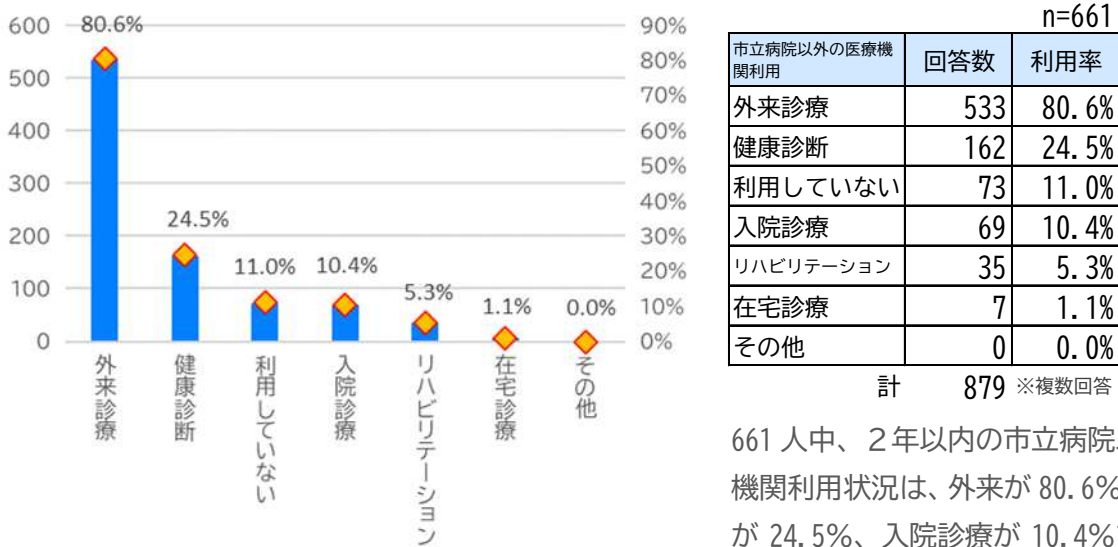


n=661

市立病院の利用	回答数	利用率
利用していない	405	61.3%
外来診療	176	26.6%
健康診断	42	6.4%
入院診療	40	6.1%
在宅診療	2	0.3%
リハビリテーション	1	0.2%
その他	0	0.0%
計	666	※複数回答

661人中、2年以内に市立病院を利用されていない方からの回答が61.3%でした。外来を利用されている方は26.6%、健康診断は6.4%、入院は6.1%でした。

7 市立病院以外の医療機関利用（2年以内）【問7】

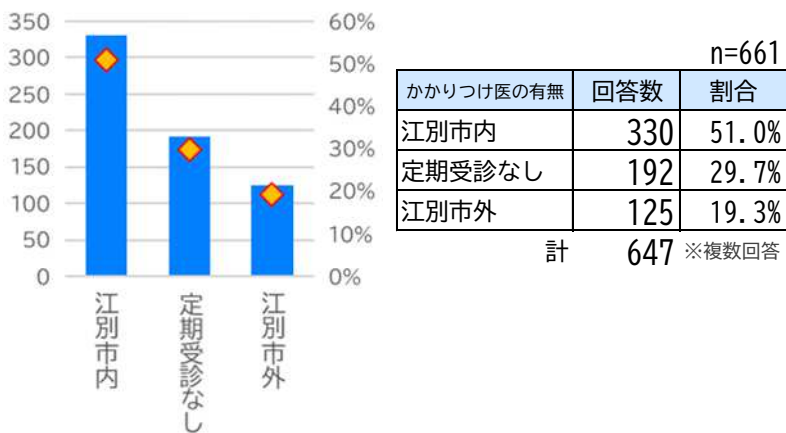


661人中、2年以内の市立病院以外の医療機関利用状況は、外来が80.6%、健康診断が24.5%、入院診療が10.4%で、利用されていない方は11.0%でした。

III 調査結果

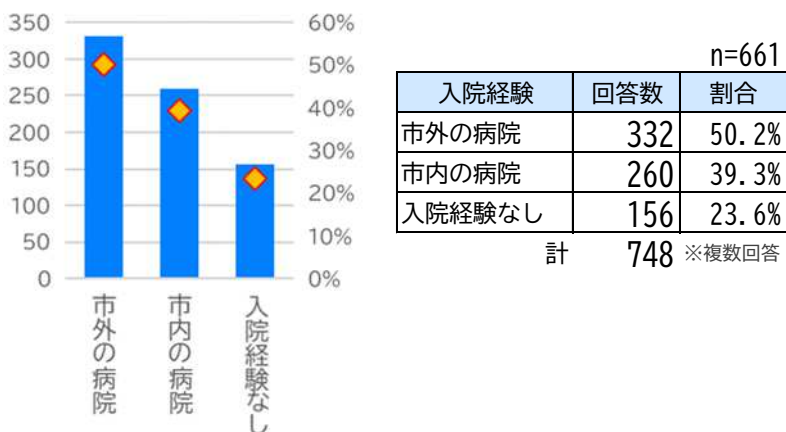
1 医療機関への受診状況

(1) 定期的に受診している医療機関（かかりつけ医）【問8】



661人中、市内にかかりつけ医がある方は51.0%、市外にある方は19.3%、かかりつけ医を持たない方は29.7%でした。

(2) これまでの入院経験【問9】

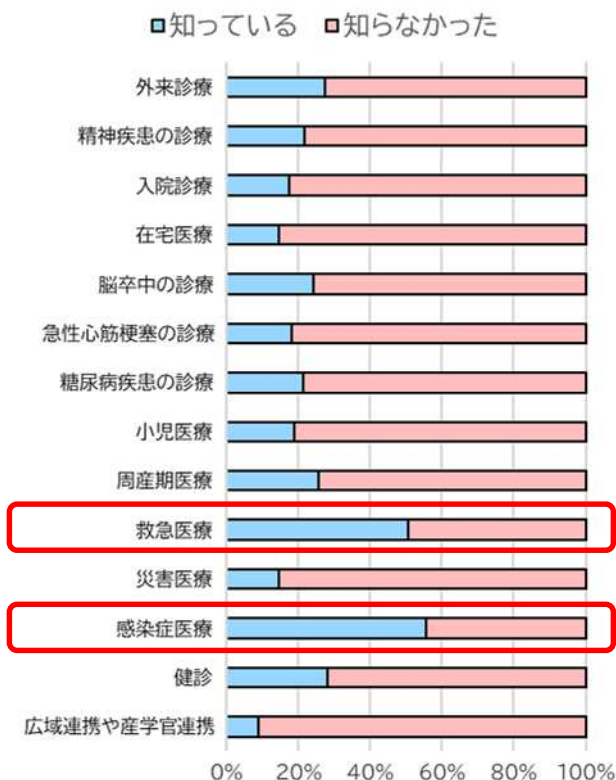


入院のご経験では、661人中、市外の病院が50.2%、市内の病院が39.3%、入院されたことがない方が23.6%でした。

2 江別市立病院に求められる医療機能について

問10から問23では、市立病院が現在取り組んでいることをご存じかどうか（認知度）と、その取組の地域医療への貢献度を、14項目についてお聞きしました。

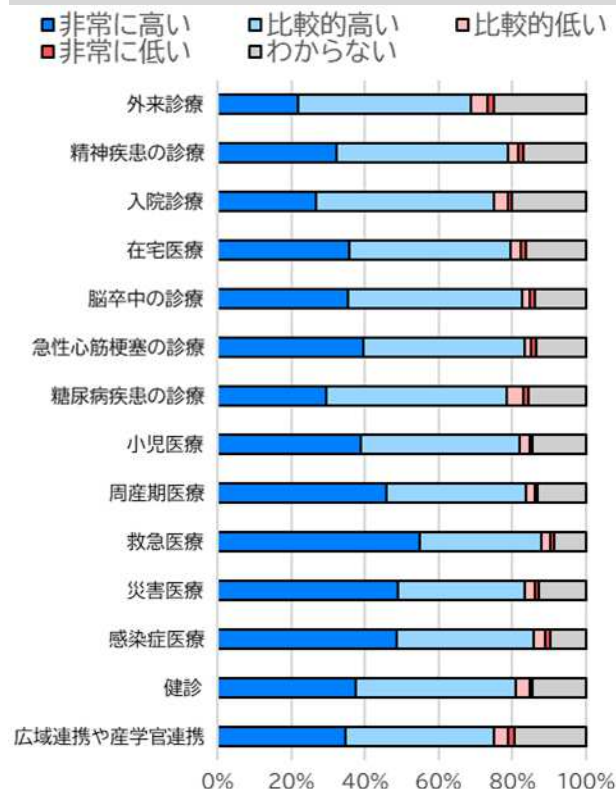
【認知度】



市立病院が取り組んでいることを知っているとして回答された方は、「感染症医療」が55.8%と最も多く、2番目に「救急医療」が50.8%と半数以上の方に認識いただいております。次いで「健診」が28.4%、「外来診療」が27.5%、「周産期医療」が25.7%でした。

逆に認知が少なかったものは、「広域連携や産学官連携」8.9%、「在宅医療」14.6%、「災害医療」14.7%という結果でした。

【貢献度】



各取組の地域医療への貢献度が非常に高い、比較的高いと回答された方は、「救急医療」87.8%と最も多く、「感染症医療」85.9%、「周産期医療」83.6%、「急性心筋梗塞の診療」83.5%、「災害医療」83.3%、「脳卒中の診療」82.7%、「小児医療」82.0%、「健診」81.1%と8項目で80%を超えました。

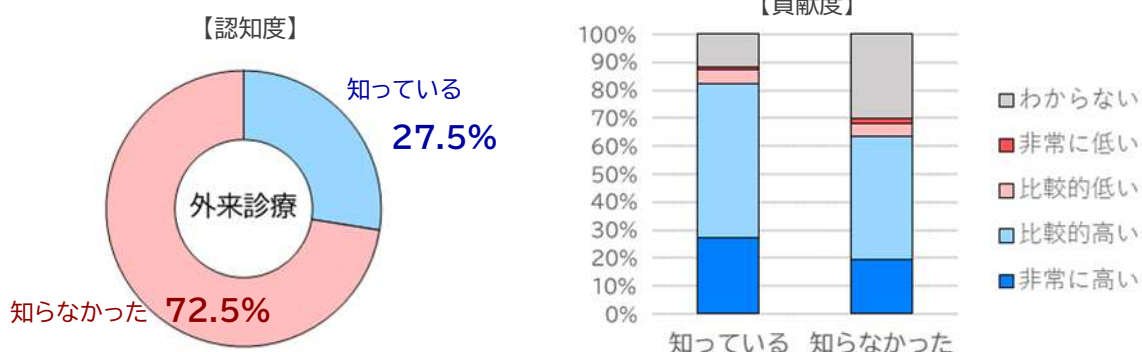
逆に貢献度が比較的低い、非常に低いと回答された方は、「外来診療」が6.3%と最も高く、「糖尿病疾患の診療」が6.0%、「広域連携や産学官連携」が5.5%となり、他の医療機関や市役所での代替性が高い項目が多いと考えられます。

一方で、わからないと回答された方は、「外来診療」が25.0%と最も多く、最も少ない「救急医療」でも8.8%という結果となり、地域医療に関する一般市民の皆さんへの情報提供についても、今後の課題であると考えられます。

設問ごとの詳細は下記のとおりです。

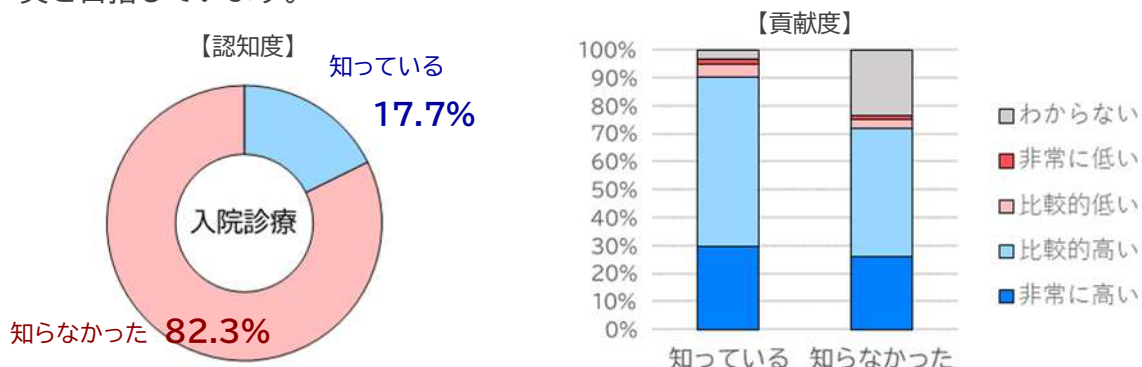
(1) 外来診療について【問 10】

市立病院では、地域の医療機関との役割分担を進め、①入院の前後の外来、②高度な医療機器を活用する外来、③地域の医療機関からの紹介患者さんに対する外来に重点を置く取組を進めています。



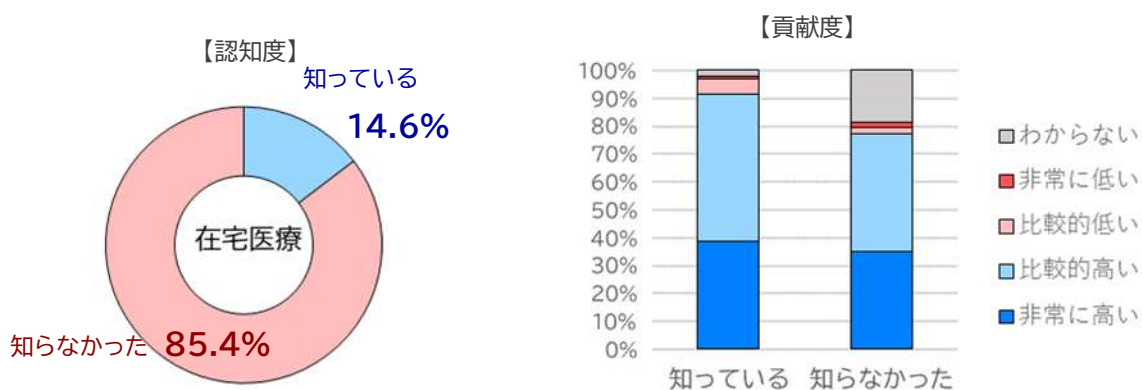
(2) 入院診療について【問 11】

市立病院の入院診療では、専門的な治療が必要な方や、複数の病気を持つ高齢者への対応に重点を置く取組を進めています。また、増加する高齢者への対応として、リハビリテーションの充実を目指しています。



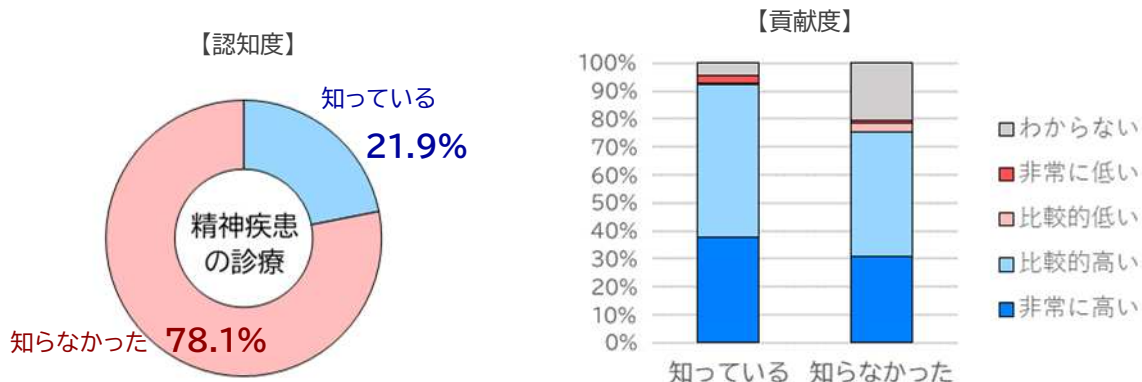
(3) 在宅診療について【問 12】

市立病院では、今後、患者さんが増えていくことが見込まれる在宅医療の分野について、地域の医療機関との連携を強化するとともに、訪問看護の充実に取り組んでいます。



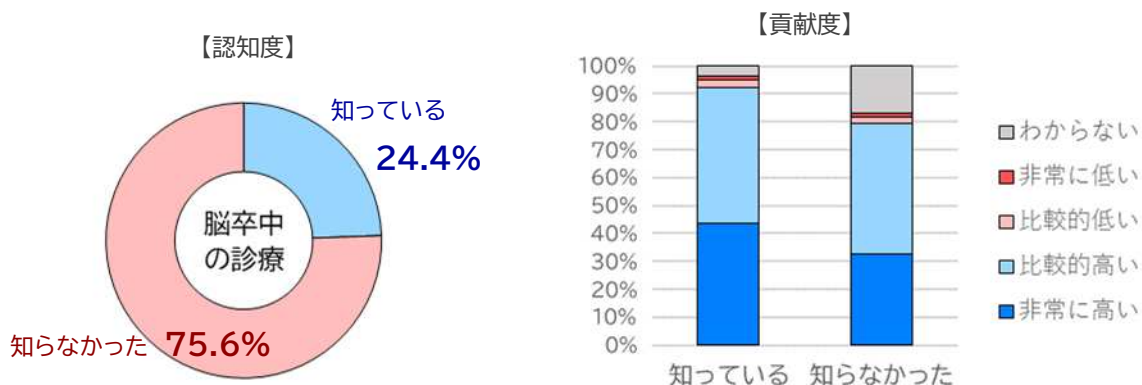
(4) 精神疾患の診療について【問 13】

市立病院では、複数の診療科での対応が必要な精神疾患をお持ちの患者さんへの対応に取り組むとともに、「もの忘れ外来」など認知症への対応を充実させています。



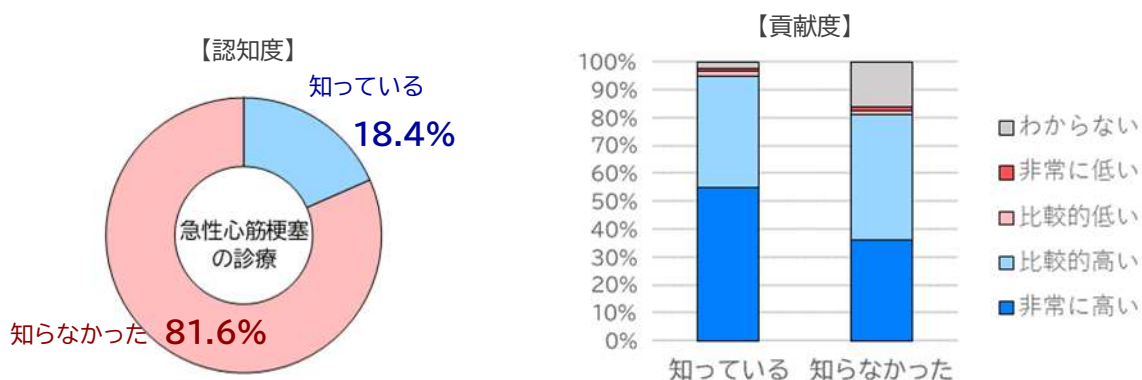
(5) 脳卒中の診療について【問 14】

市立病院では、他の医療機関と連携し、高度な医療機器（MRI）を活用した「脳ドック」など、脳卒中の早期発見に向けた予防医療の充実に取り組んでいます。



(6) 急性心筋梗塞の診療について【問 15】

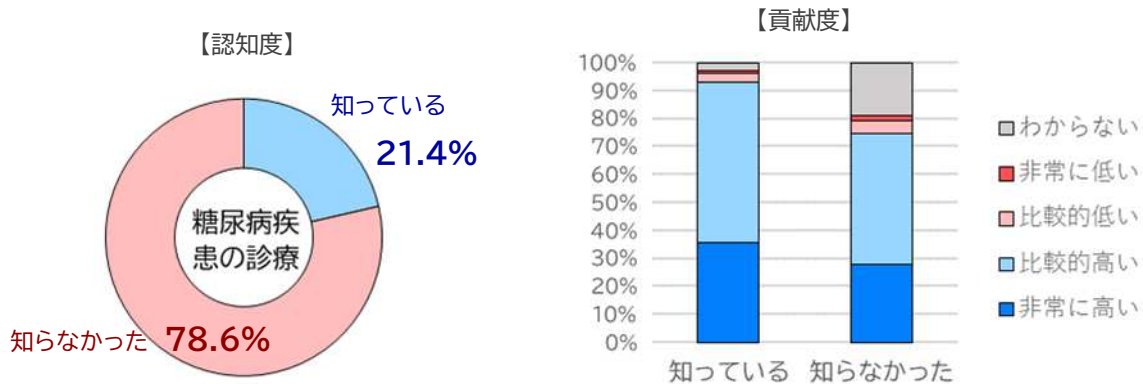
市立病院では、狭心症や心筋梗塞といった心臓の病気に対して、緊急でのカテーテル検査・治療を行うなど、救急医療に積極的に取り組んでいます。



(7) 糖尿病疾患の診療について【問 16】

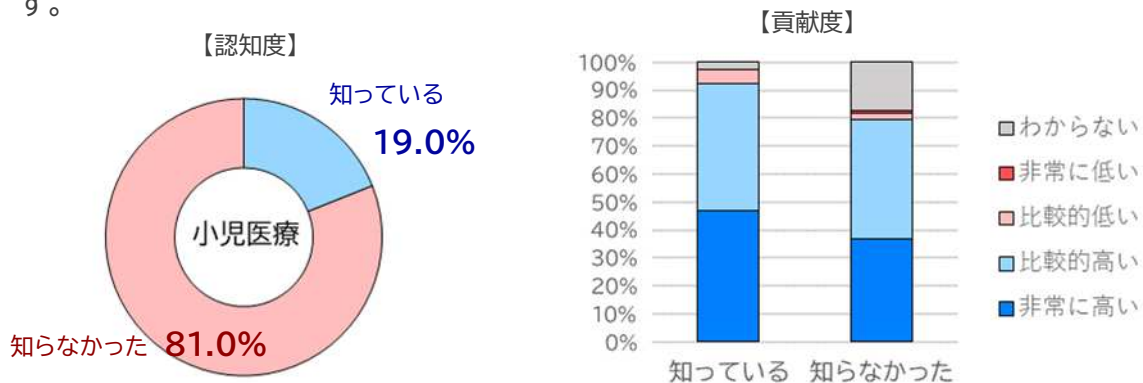
市立病院では、医師、薬剤師、管理栄養士等が講師となり「糖尿病教室」を実施するなど、糖尿病についての啓発活動に取り組んでいます。

(※コロナ感染症対策のため、休止中。今後再開する予定です。)



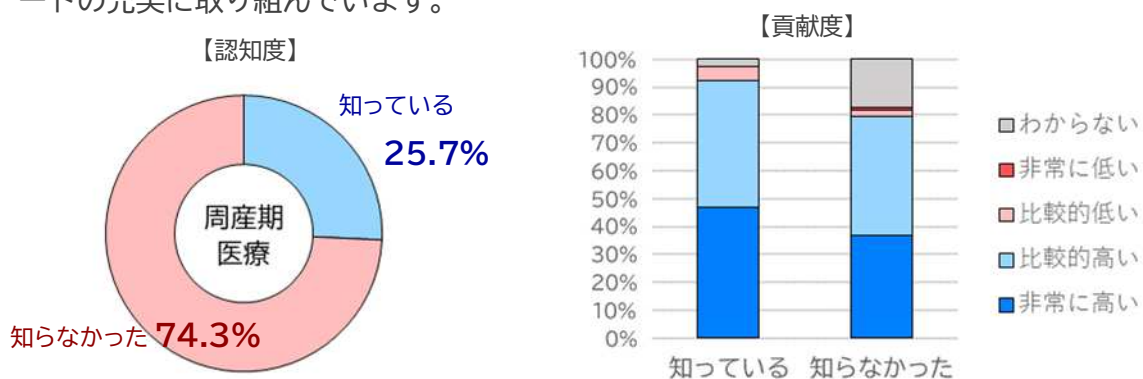
(8) 小児医療について【問 17】

市立病院では、市内で唯一の小児入院病床を有する医療機関として、入院機能の維持に努めています。また、心臓外来やアレルギー外来など、専門性の高い外来診療の充実に取り組んでいます。



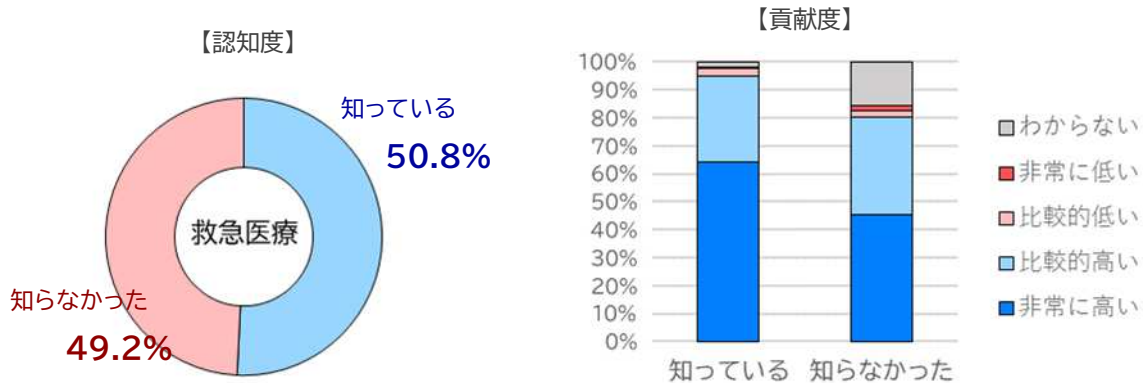
(9) 周産期医療について【問 18】

市立病院では、市内で唯一出産ができる病院として入院機能の維持に努めているほか、「和痛分娩」や「里帰り出産」など、妊産婦さんのニーズに応える取組を進めています。また、妊産婦さんの心のケアや、出産後のお母さんと赤ちゃんの支援など、産前から産後を通じた医療やサポートの充実に取り組んでいます。



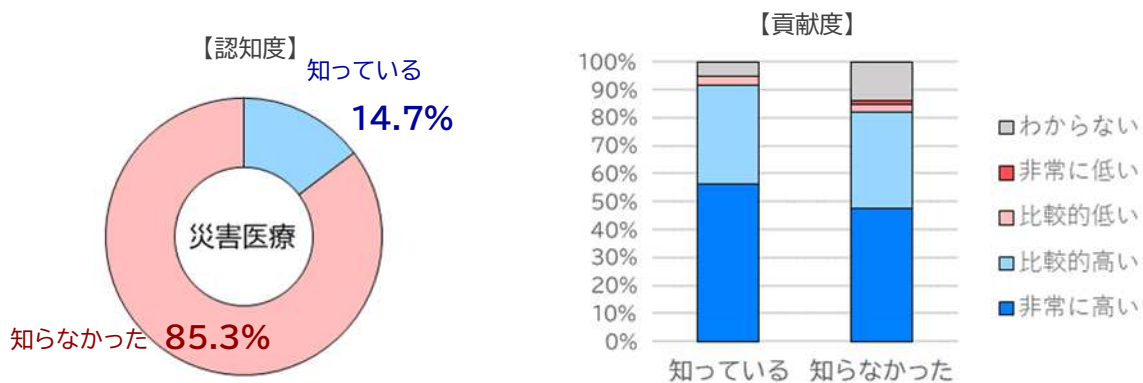
(10) 救急医療について【問 19】

市立病院では、市内の医療機関や関係機関と連携し、休日や夜間の救急車の受入れを進めるなど、江別市における救急医療の安定化に向けた取組を進めています。



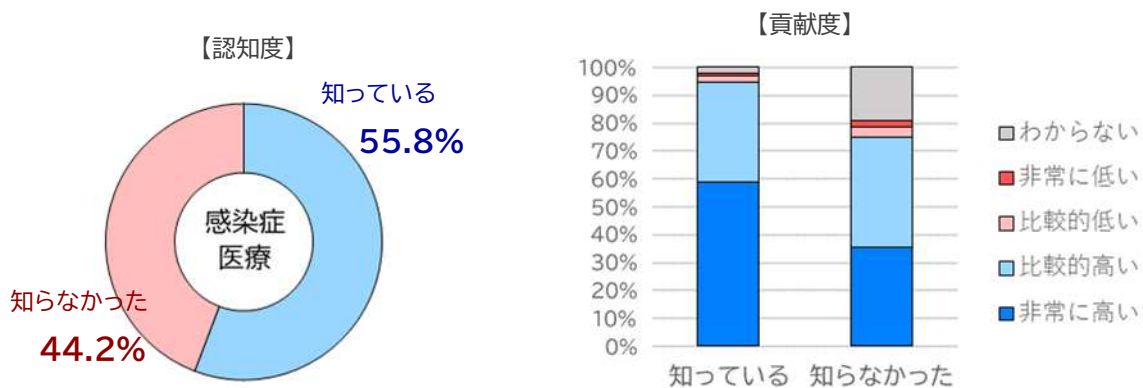
(11) 災害医療について【問 20】

市立病院では、業務継続計画（BCP）の策定を行うなど、災害時でも市民の皆さまに必要な医療を提供できる体制の整備を進めています。



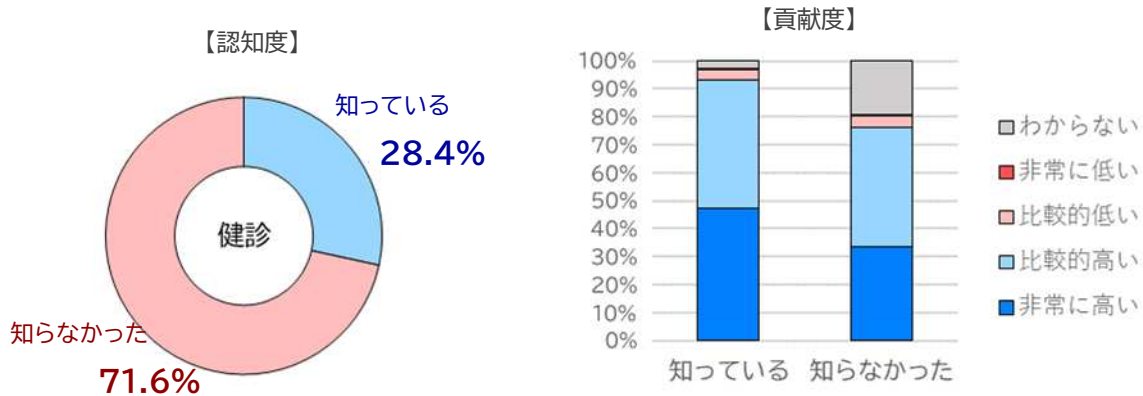
(12) 感染症医療について【問 21】

市立病院では、新型コロナウイルス感染症へ対応するため、発熱外来の設置や、重点医療機関として入院患者さんの受入れを進めるなど、地域の医療機関と連携しながら、必要な診療体制の確保に努めてきました。



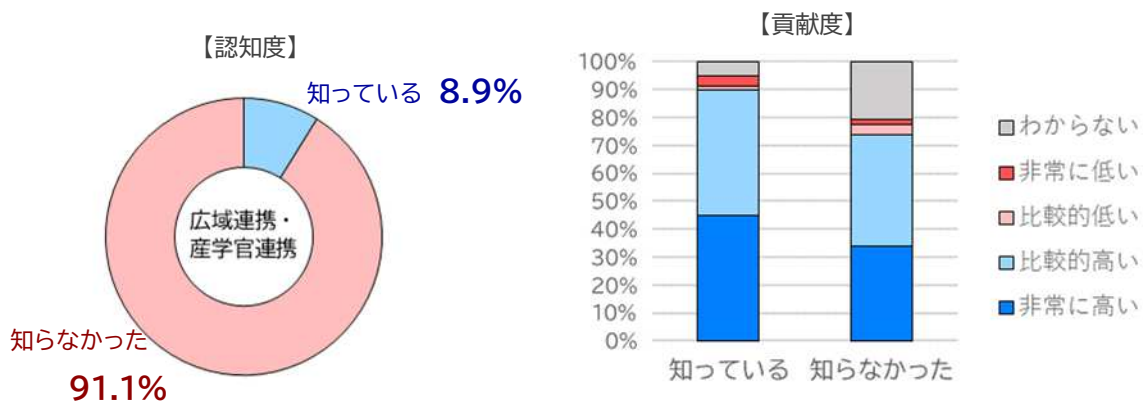
(13) 健診について【問 22】

市立病院では、令和2年12月に、新たに健診センターを設置しました。現在、健診センターの拡張や、オプション検査の拡充など、健診のより一層の充実に向けて、取組を進めています。



(14) 広域連携や産学官連携について【問 23】

市立病院では、令和5年2月に、江別市、当別町、南幌町、新篠津村の4市町村で構成する「江別・南空知先端医療推進協議会」を設立し、大学や地元企業と連携し、地域医療の充実を目的とした共同研究を進めています。

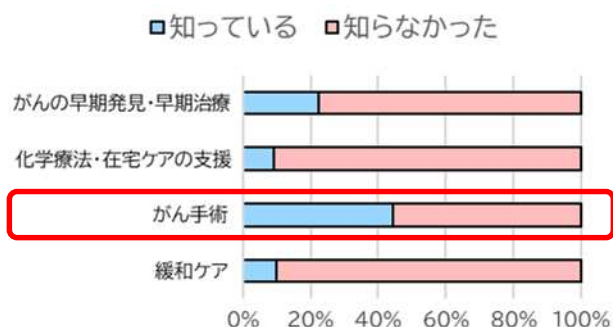


3 江別市立病院として今後注力したい医療機能について

市立病院では、がん患者さんが住み慣れた地域社会で生活していくために必要な支援を受けられるよう、がん診療を充実させるため、「北海道がん診療連携指定病院」の指定に向けた取組を進めています。

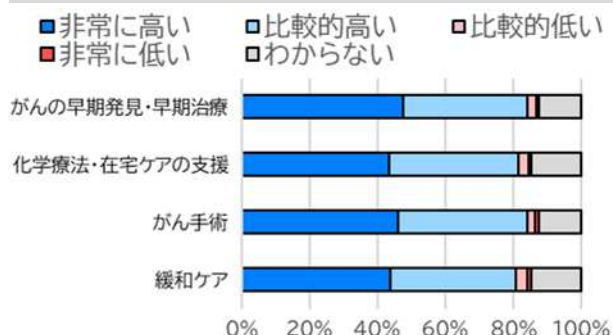
問 24 から問 27 では、当院のこれまでの「がん診療」への取組と今後の計画について、現在取り組んでいることをご存じかどうか（認知度）と、その取組の地域医療への貢献度を、4 項目についてお聞きしました。

【認知度】



市立病院が取り組んでいることを知っていると回答された方は、「がん手術」が 44.3%と多かったものの、全体的にご存じの方が少ない結果でした。特に緩和ケアは、取り組み始めたばかりのため、今後のPRも重要であると考えています。

【貢献度】



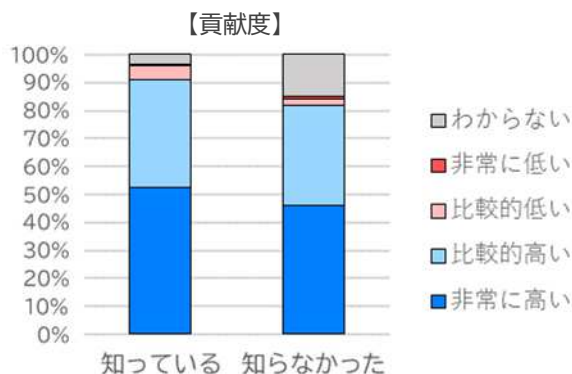
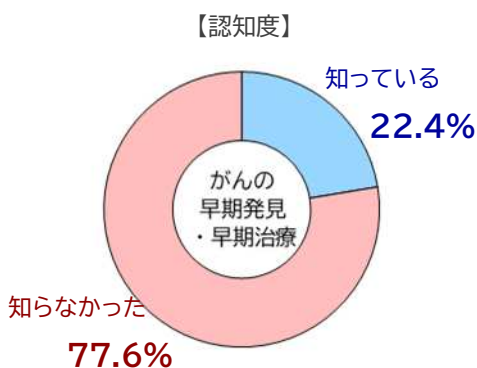
各取組の地域医療への貢献度が非常に高い、比較的高いと回答された方は、4 項目で 80%を超えました。

逆に貢献度が比較的低い、非常に低いと回答された方は、4 項目とも 4%前後であり、がん診療の充実に取り組むことは、市民の皆さんのニーズに合っていると考えられます。

設問ごとの詳細は下記のとおりです。

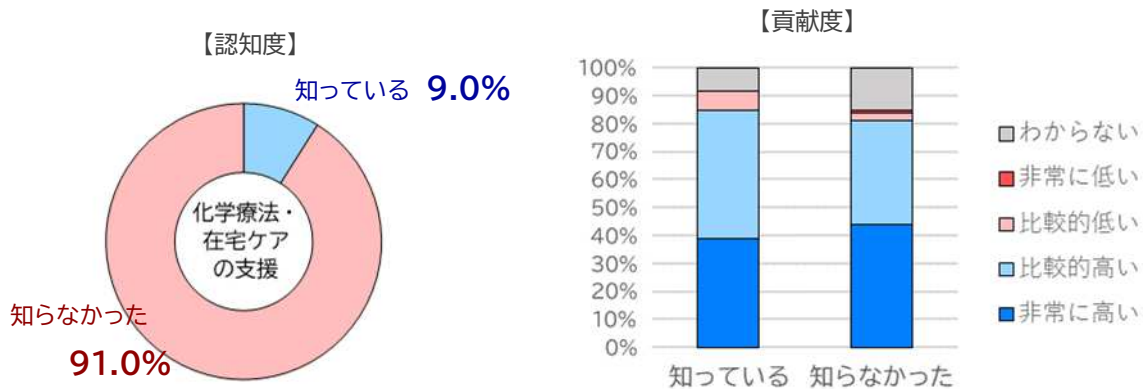
(1) がんの早期発見・早期治療について【問 24】

市立病院では、予防医療の充実を目指し、がんの早期発見のため、がん検診（胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診）に取り組んでいます。また、部位別での死亡率が最も高い肺がんの早期発見を目的として、令和 4 年 8 月から「高機能肺ドック」を実施しています。



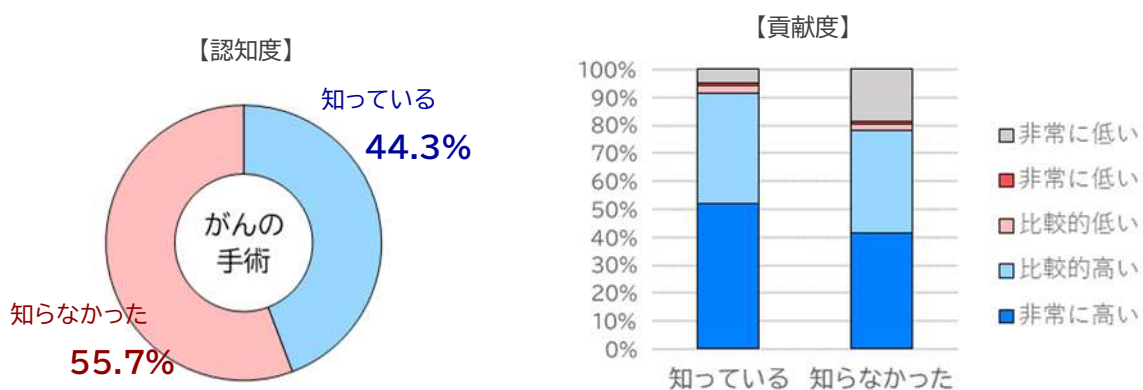
(2) 化学療法・在宅ケアの支援について【問25】

市立病院では、外来に独立した化学療法室を備え、仕事を続けながら化学療法によるがん治療ができる体制を整えています。また必要に応じて、訪問看護ステーションとの連携により、在宅ケアの支援も行っています。



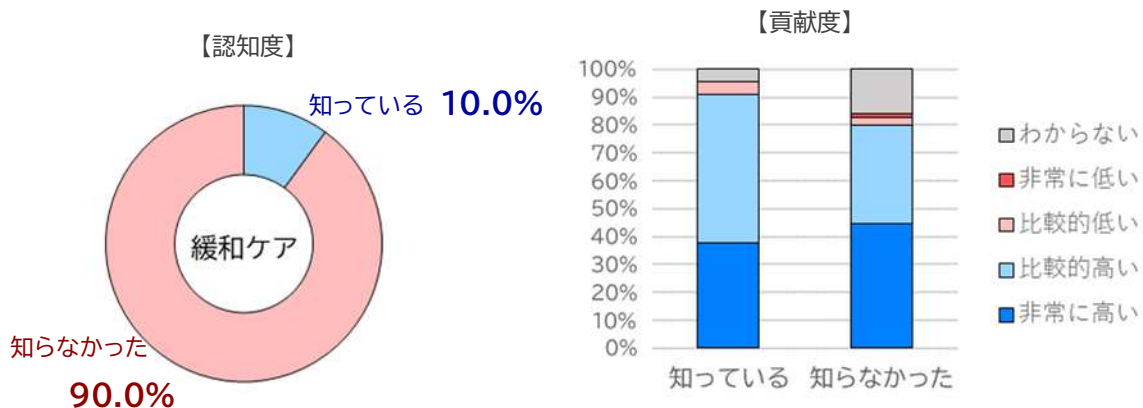
(3) 手術について【問26】

市立病院では、総合的な病院機能を有する医療機関として、消化器がん（胃がん、大腸がん）や乳がん、子宮がん、前立腺がんなど、幅広いがん疾患の手術を行っています。



(4) 緩和ケアについて【問27】

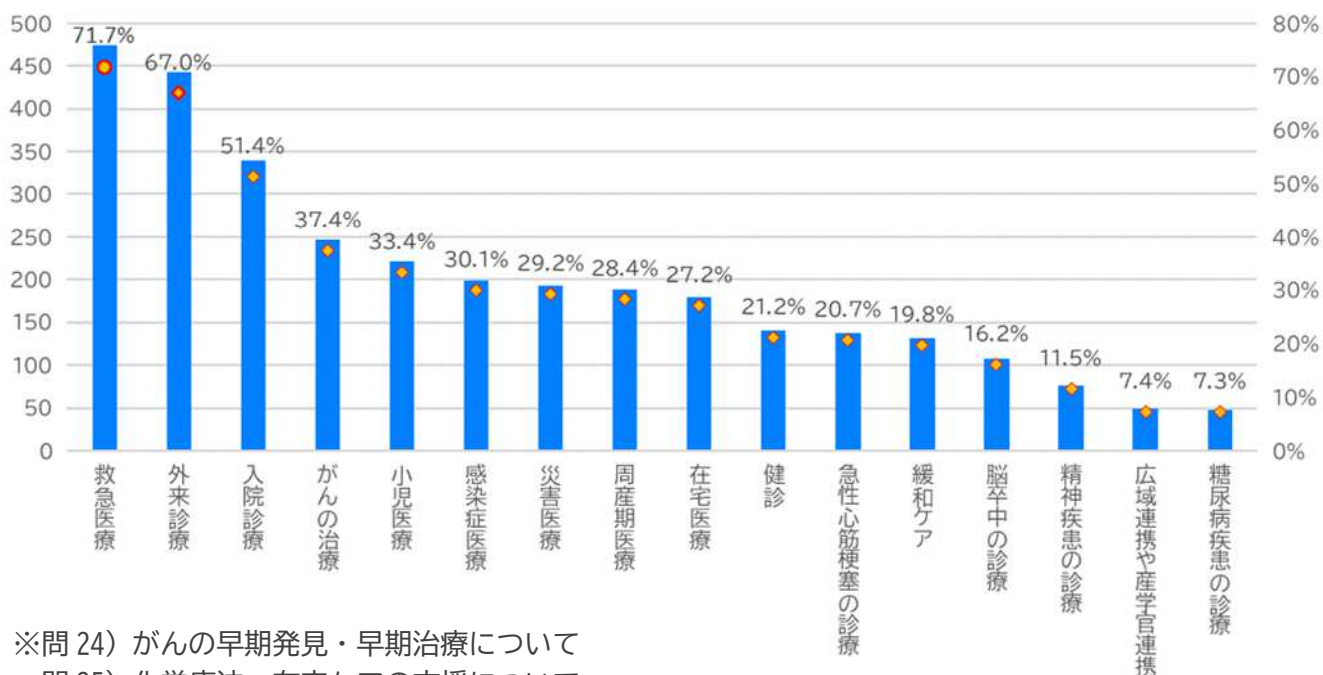
市立病院では、今後、地域における需要が増えていくことが想定される、「緩和ケア」を充実させるため、医師、看護師、薬剤師による「緩和ケアチーム」の立上げなどに取り組んでいます。



4 江別市立病院に今後求められる医療機能の重要度について

問 10 から問 27 でお聞きした「市立病院に求められる医療機能」および「市立病院として今後注力したい医療機能」の中で、江別市の地域医療を充実させるうえで、市立病院が担うべき役割として、最も重要だと思うものを5つ選んで回答いただきました。

市立病院が担うべき役割について【問 28】



※問 24) がんの早期発見・早期治療について

問 25) 化学療法・在宅ケアの支援について

問 26) (がんの) 手術について

の3項目については、「がんの治療」でまとめています。

図は、回答数の多かった順番に並べ替えたものです。

最も多かったのは「救急医療」71.7%で、「外来診療」67.0%、「入院診療」51.4%、「がんの治療」37.4%、「小児医療」33.4%、「感染症医療」30.1%、「災害医療」29.2%、「周産期医療」27.2%、在宅医療 27.2%の順に選択されました。(25%以上のみ抜粋)

特に外来診療については、市民の皆さんのニーズが高いことがわかりましたので、市内のクリニックとの役割分担を明確にして地域医療連携の取り組みを進めるとともに、市民の皆さんへの周知が重要であると考えています。

また、「小児医療」「感染症医療」「災害医療」「周産期医療」などは、公立病院に求められる機能として一定の重要度が認識されていることが確認されました。

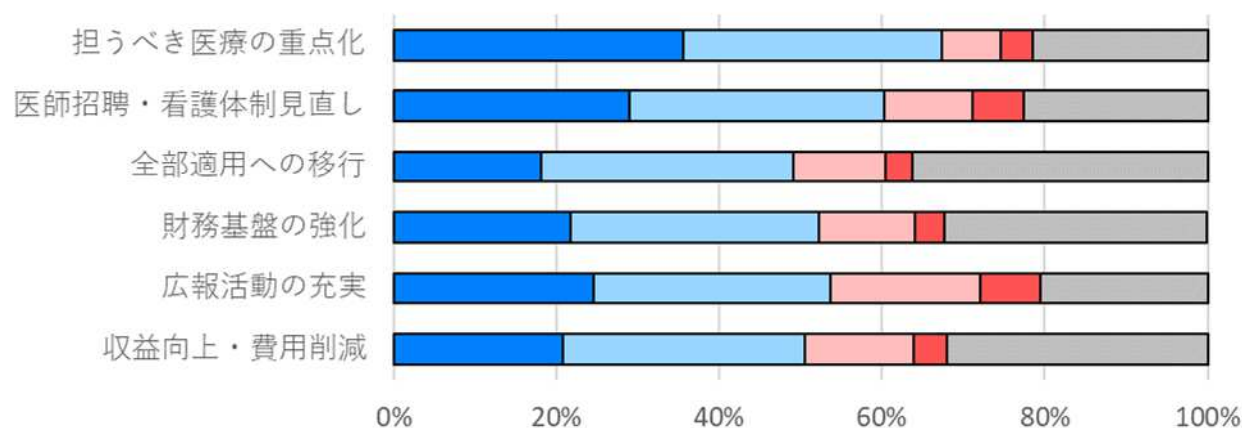
5 江別市立病院の経営再建（ロードマップ）の取組について

市立病院では、令和2年度から4年度までを集中改革期間として、経営再建の取組を進めてきました。この経営再建の進捗状況について、主な6つの取り組みに対して4段階で評価をいただきました。

経営再建の取組に対する評価【問 29】

1. 地域の医療機関との連携を強化し、救急医療など市立病院が担うべき医療の重点化を進める
2. 医師の招へいや看護体制の見直しを進め、診療体制を確立する
3. 地方公営企業法全部適用への移行などを進め、ガバナンスを強化し、経営体制を構築する
4. 一般会計による公費負担の適正化や財務基盤の強化を進める
5. 市民への分かりやすい情報提供に努め、広報活動の充実を図る
6. 収益を向上させるとともに、費用を削減し、収支均衡を実現する

■評価する ■やや評価する ■あまり評価しない ■評価しない ■わからない



各取組について、評価する、やや評価すると回答された方は、「担うべき医療の重点化」が67.3%と最も多く、「医師招聘・看護体制見直し」が60.3%と2項目で60%を超えました。

他には、「広報活動の充実」53.7%、「財務基盤の強化」52.2%、「収益向上・費用削減」50.5%、「全部適用への移行」49.1%と続いており、50%前後という結果でした。

あまり評価しない、評価しないと回答された方は、「広報活動の充実」が25.7%と最も高く、「収益向上・費用削減」17.5%、「医師招聘・看護体制見直し」17.1%、「財務基盤の強化」15.4%、「全部適用への移行」14.7%、「担うべき医療の重点化」11.2%と続いています。

一方で、わからないと回答された方は、「全部適用への移行」36.2%、「財務基盤の強化」32.3%、「収益向上・費用削減」32.0%、「医師招聘・看護体制見直し」22.7%、「担うべき医療の重点化」21.5%、「広報活動の充実」20.7%という結果であり、市立病院の取組に関する情報をいかに一般市民の皆さんへのお届けできるかが、今後の課題であると考えられます。

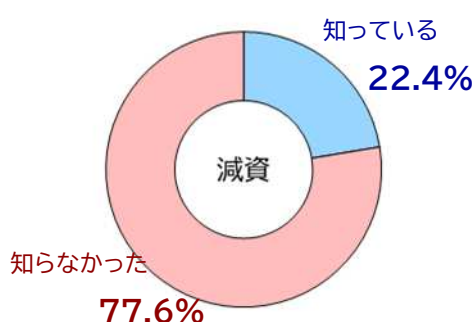
6 江別市立病院の財政状況について

(1) 減資について【問 30】

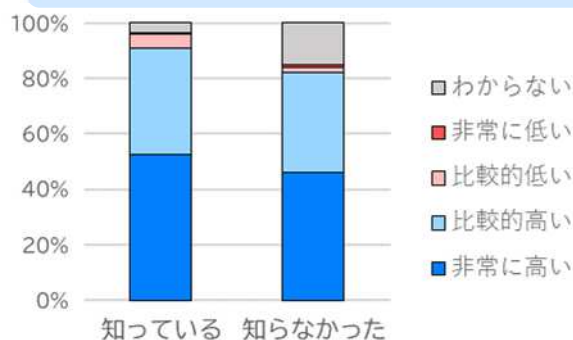
市立病院では、令和4年9月に「収支構造の見える化」を目的として、資本金を減少させ、累積欠損金と相殺する「減資」という手続きを行いました。この結果、令和3年度末に117億円あった累積欠損金は、令和4年度末には約3億円まで圧縮されています。

市立病院では、この累積欠損金の早期解消に向けて、経営再建の取組を進めています。

市立病院が「減資」を行ったことをご存じでしたか



減資は、市立病院の収支構造の見える化や、経営再建に対して貢献度が高いと思われますか。



市立病院が「減資」を行ったことについて、知っていると回答された方は22.4%、知らなかったと回答された方は77.6%でした。

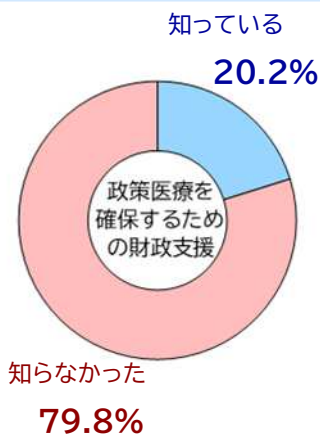
減資が市立病院の収支構造の見える化や、経営再建に対して貢献度が高いと思われるかについて、非常に高い、比較的高いと回答された方は80%を超え、取組を知っている方のほうが高く評価されています。逆に貢献度が比較的低い、非常に低いと回答された方は、取組を知っている方が5.5%、知らなかった方が3.0%でした。

一方で、わからないと回答された方は、取組を知っている方が3.4%、知らなかった方が15.0%でした。

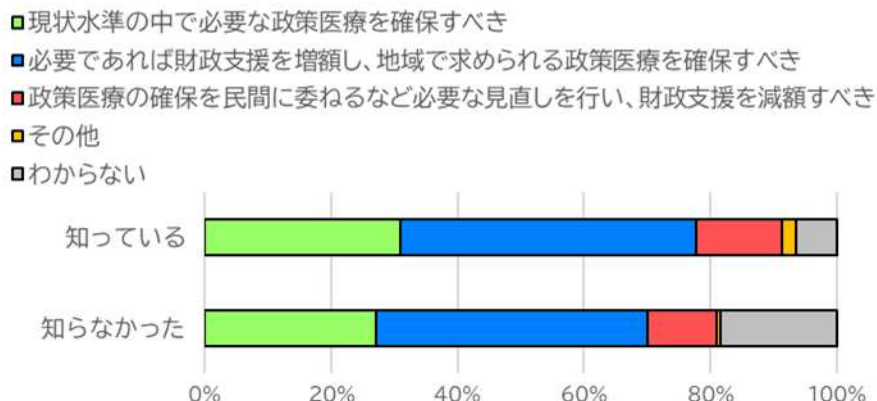
(2) 政策医療を確保するための財政支援について【問 31】

市立病院は、市内で唯一の小児病床を有する病院であり、さらに、出産を取り扱うなど、市民生活にとって不可欠な医療を提供しています。これら、小児医療や周産期医療のほか、救急医療といった政策医療を担うため、市の一般会計から年間約14億円の財政支援を受けています。

市立病院がこのような財政支援を受けていることをご存じでしたか



財政支援について、もっとも近い考え方をお選びください



市立病院が政策医療を担うため、市の一般会計から年間約14億円の財政支援を受けていることについて、知っていると回答された方は20.2%、知らなかったと回答された方は79.8%でした。

財政支援の考え方については、下記のとおりの結果でした。

選択項目		知っている	知らなかった	合計
	現状水準の中で必要な政策医療を確保すべき	31.0%	27.2%	27.9%
	必要であれば財政支援を増額し、地域で求められる政策医療を確保すべき	46.8%	42.9%	43.7%
	政策医療の確保を民間に委ねるなど必要な見直しを行い、財政支援を減額すべき	13.5%	11.1%	11.6%
	その他	2.4%	0.6%	1.0%
	わからない	6.3%	18.3%	15.9%

【「その他」を選択された方の、財政支援に関するご意見（自由記載）】※原文ママ
 ・14億で十分に医療を提供できるならこのままで良いと思うし、足りないなら増額
 ・政策医療を中心にすすめ診療内容を制約し財政支援を10億以下にすべきだ

最も多かった考え方は「必要であれば財政支援を増額し、地域で求められる政策医療を確保すべき」が全体で43.7%でした。金額ありきではなく、地域で求められる政策医療の確保を優先すべきというご意見であると考えています。

次に多かった考え方は「現状水準の中で必要な政策医療を確保すべき」が全体で27.9%でした。こちらも、現状の繰り入れ金額を維持することが目的ではなく、繰り入れ金額の増額に頼らずに必要な政策医療の確保に取り組むべきであるというご意見であると考えています。

そのほか、「わからない」が全体で15.9%、「政策医療の確保を民間に委ねるなど必要な見直しを行い、財政支援を減額すべき」が全体で11.6%、「その他」が全体で1.0%でした。

IV 資料編

【アンケート調査票】

江別市立病院 医療と経営についてのアンケート調査

～ ご協力のお願い ～

日頃より当院の医療提供につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、当院では、国が示したガイドライン(指針)を踏まえ、「江別市立病院経営強化プラン」(以下、経営強化プラン)の策定を進めています。この経営強化プランでは、当院の地域における担うべき役割を明確にし、令和6年4月から5年間の経営計画を策定する予定です。

経営強化プランの策定においては、「江別市自治基本条例」の理念に基づいて、幅広い市民意見を参考にさせていただきたいと考えております。

大変お忙しい中恐縮ではございますが、本件の主旨をご理解のうえ、率直なご意見を頂けますよう、ご協力をお願いいたします。



© 2022 Ebetsu City Hospital

令和5年6月 江別市立病院 事業管理者 長谷部 直幸

< ご回答にあたっての留意事項 >

- このアンケート調査は、江別市内に在住する18歳以上の方を対象として、無作為に抽出した2,000人の方をお願いしています。
- ご回答は、宛名のご本人がお答えください。(※なお、回答者が長期不在などで回答できない場合には、本アンケート調査の趣旨として、一人でも多くの方からご意見をいただきたいので、18歳以上のご家族のどなたに回答していただいても構いません。)
- アンケートの回答方法は、「アンケート用紙」による回答と「WEBアンケート」による回答のいずれか 1つの方法をお選びください。

< アンケート用紙による回答の場合 >

- 回答は、設問の説明に沿って○印を付けてください。(文字の記入が必要な設問もあります。)
- 設問によって、○印を付ける数が異なりますので、ご注意ください。
- アンケート調査の結果は、統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れていただき、
2023年7月21日(金)まで に郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

※当日消印有効

< お問い合わせ先 >



江別市立病院

EBETSU CITY HOSPITAL

経営推進監付(経営改善担当)

電話:011-382-5151

E-mail:hos-keieikaizen@city.ebetsu.lg.jp

IV 資料編

【アンケート調査票】

江別市立病院 医療と経営についてのアンケート調査

インターネットによる回答方法

パソコンやスマートフォン、タブレット等を使って、インターネット上の回答フォームから回答する場合は、以下の手順で行ってください。

(インターネットで回答した場合は、アンケート用紙の郵送は不要です。)

1. 下記のURLまたは二次元コードから、回答フォームにアクセスしてください。

回答フォームURL

↓ ※数字で02

https://www.ebetsu-hospital.jp/about/mgmt02_form.html

二次元コード



2. 最初の画面で、アンケート記号を入力してください。

あなたのアンケート記号

調査票

*アンケート記号は、半角英数字で入力してください。

*アンケート記号の入力に誤りがある場合、先に進めませんので、ご注意ください。

*アンケート記号から個人が特定されることはありません。

3. アンケートを進めていただき、最後に送信ボタンを押してください。

*送信ボタンを押す前に画面を閉じってしまうと、回答が反映されませんのでご注意ください。

4. 回答は、**お一人につき1回限り** です。

*2回目以降に回答した場合、回答が上書きされますのでご注意ください。

5. 回答フォームは、**2023年7月21日(金) 17時まで** 回答可能です。

*期限を過ぎると、回答フォームにアクセスできなくなりますのでご注意ください。

< お問い合わせ先 >



経営推進監付(経営改善担当)

電話:011-382-5151

E-mail:hos-keieikaizen@city.ebetsu.lg.jp

IV 資料編

【アンケート調査票】

アンケート調査回答票

ご回答後、この調査票を同封の返信用封筒で切手を貼らずにご返送ください。

I. あなたの基本情報について

問 1 性別について、1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

問 2 今現在の年齢について、1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. 18歳～24歳 2. 25歳～34歳 3. 35歳～44歳 4. 45歳～54歳
5. 55歳～64歳 6. 65歳～74歳 7. 75歳以上

問 3 お住まいの地区について、1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

地区が分からない場合は、6を選んで()に町名をお書きください。

1. 江別地区 2. 野幌地区 3. 大麻地区
4. 文京台地区 5. 豊幌地区 6. わからない(町名:)

問 4 同じ世帯に15歳未満の家族がいますか。

1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. いる 2. いない

問 5 定期的(概ね2ヶ月に1回以上)に外来診療または在宅診療を受診している病気はありますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1. ある 2. ない 3. わからない

問 6 ここ2年以内に市立病院を利用されたことはありますか。

※ 利用された理由に該当するものをすべて選んで番号に○印を付けてください。

1. 外来診療 2. 入院診療 3. 在宅診療 4. 健康診断
5. リハビリテーション 6. 利用していない 7. その他

問 7 ここ2年以内に市立病院以外の医療機関を利用されたことはありますか。

※ 利用された理由に該当するものをすべて選んで番号に○印を付けてください。

1. 外来診療 2. 入院診療 3. 在宅診療 4. 健康診断
5. リハビリテーション 6. 利用していない 7. その他

IV 資料編

【アンケート調査票】

II. あなたの医療機関への受診状況について

問 8 定期的に受診している医療機関(かかりつけ医)はありますか。
※ 該当するものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

1. 定期的な江別市内の医療機関で受診している
2. 定期的な江別市外の医療機関で受診している
3. 現在、定期的な受診をしていない

問 9 これまでに入院経験はありますか。
※ 該当するものをすべて選んで番号に○印を付けてください。

1. 江別市内の病院に入院した
2. 江別市外の病院に入院した
3. 入院したことがない

III. 江別市立病院に求められる医療機能について

市立病院が現在取り組んでいることと、地域医療への貢献度についてお伺いします。
各問の「取組をご存じかどうか」「地域医療への貢献度はどうか」について、それぞれ該当するものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

問 10 外来診療について

市立病院では、地域の医療機関との役割分担を進め、①入院の前後の外来、②高度な医療機器を活用する外来、③地域の医療機関からの紹介患者さんに対する外来に重点を置く取組を進めています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている
2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われませんか。

1. 非常に高い
2. 比較的高い
3. 比較的低い
4. 非常に低い
5. わからない

問 11 入院診療について

市立病院の入院診療では、専門的な治療が必要な方や、複数の病気を持つ高齢者への対応に重点を置く取組を進めています。また、増加する高齢者への対応として、リハビリテーションの充実を目指しています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている
2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われませんか。

1. 非常に高い
2. 比較的高い
3. 比較的低い
4. 非常に低い
5. わからない

IV 資料編

【アンケート調査票】

問 12 在宅医療について

市立病院では、今後、患者さんが増えていくことが見込まれる在宅医療の分野について、地域の医療機関との連携を強化するとともに、訪問看護の充実に取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 13 精神疾患の診療について

市立病院では、複数の診療科での対応が必要な精神疾患をお持ちの患者さんへの対応に取り組むとともに、「もの忘れ外来」など認知症への対応を充実させています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 14 脳卒中の診療について

市立病院では、他の医療機関と連携し、高度な医療機器(MRI)を活用した「脳ドック」など、脳卒中の早期発見に向けた予防医療の充実に取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 15 急性心筋梗塞の診療について

市立病院では、狭心症や心筋梗塞といった心臓の病気に対して、緊急でのカテーテル検査・治療を行うなど、救急医療に積極的に取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

IV 資料編

【アンケート調査票】

問 16 糖尿病疾患の診療について

市立病院では、医師、薬剤師、管理栄養士等が講師となり「糖尿病教室」を実施するなど、糖尿病についての啓発活動に取り組んでいます。

(※コロナ感染症対策のため、休止中。今後再開する予定です。)

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 17 小児医療について

市立病院では、市内で唯一の小児入院病床を有する医療機関として、入院機能の維持に努めています。また、心臓外来やアレルギー外来など、専門性の高い外来診療の充実に取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 18 周産期医療について

市立病院では、市内で唯一出産ができる病院として入院機能の維持に努めているほか、「和痛分娩」や「里帰り出産」など、妊産婦さんのニーズに応える取組を進めています。また、妊産婦さんの心のケアや、出産後のお母さんと赤ちゃんの支援など、産前から産後を通じた医療やサポートの充実に取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

【周産期】とは、妊娠22週から出生後7日未滿までの期間をいいます。市立病院では、母体・胎児や新生児の安全を確保するため、産婦人科と小児科が連携して周産期医療に対応しています。

【和痛分娩】とは、麻酔を使って分娩時のさまざまな痛みをやわらげる出産方法です。麻酔をしたとしても完全に痛みがゼロになるわけではないので、市立病院では「和痛分娩」と呼んでいます。市立病院では、専門の麻酔科医と産婦人科医が連携して、安全性の高い和痛分娩の実現を目指しています。

IV 資料編

【アンケート調査票】

問 19 救急医療について

市立病院では、市内の医療機関や関係機関と連携し、休日や夜間の救急車の受入れを進めるなど、江別市における救急医療の安定化に向けた取組を進めています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 20 災害医療について

市立病院では、業務継続計画(BCP)の策定を行うなど、災害時でも市民の皆さまに必要な医療を提供できる体制の整備を進めています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

【業務継続計画(BCP)】は、企業や病院といった組織が、自然災害などの緊急事態が起きた場合でも、事業を継続することができるようにするために策定する計画です。業務継続計画では、緊急事態に備えて、日常から準備することや、緊急事態が起きた際取るべき行動などについて、あらかじめ取り決めておきます。

問 21 感染症医療について

市立病院では、新型コロナウイルス感染症へ対応するため、発熱外来の設置や、重点医療機関として入院患者さんの受入れを進めるなど、地域の医療機関と連携しながら、必要な診療体制の確保に努めてきました。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

IV 資料編

【アンケート調査票】

問 22 健診について

市立病院では、令和2年12月に、新たに健診センターを設置しました。
現在、健診センターの拡張や、オプション検査の拡充など、健診のより一層の充実に向けて、取組を進めています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 23 広域連携や産学官連携について

市立病院では、令和5年2月に、江別市、当別町、南幌町、新篠津村の4市町村で構成する「江別・南空知先端医療推進協議会」を設立し、大学や地元企業と連携し、地域医療の充実を目的とした共同研究を進めています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

IV. 江別市立病院として今後注力したい医療機能について

市立病院では、がん患者さんが住み慣れた地域社会で生活していくために必要な支援を受けられるよう、がん診療を充実させるため、「北海道がん診療連携指定病院」の指定に向けた取組を進めています。

当院のこれまでの「がん診療」への取組と今後の計画について、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

各問の「取組をご存じかどうか」「地域医療への貢献度かどうか」について、それぞれ該当するものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

問 24 がんの早期発見・早期治療について

市立病院では、予防医療の充実を目指し、がんの早期発見のため、がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診)に取り組んでいます。
また、部位別での死亡率が最も高い肺がんの早期発見を目的として、令和4年8月から「高機能肺ドック」を実施しています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

IV 資料編

【アンケート調査票】

問 25 化学療法・在宅ケアの支援について

市立病院では、外来に独立した化学療法室を備え、仕事を続けながら化学療法によるがん治療ができる体制を整えています。また必要に応じて、訪問看護ステーションとの連携により、在宅ケアの支援も行っています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 26 手術について

市立病院では、総合的な病院機能を有する医療機関として、消化器がん(胃がん、大腸がん)や乳がん、子宮がん、前立腺がんなど、幅広いがん疾患の手術を行っています。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

問 27 緩和ケアについて

市立病院では、今後、地域における需要が増えていくことが想定される、「緩和ケア」を充実させるため、医師、看護師、薬剤師による「緩和ケアチーム」の立上げなどに取り組んでいます。

市立病院のこのような取組をご存じでしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、地域医療への貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

【緩和ケア】とは、「がん」などの生命に関わる深刻な病気に直面している患者さんとそのご家族に対して、体や心のさまざまな苦痛を和らげる医療を提供し、より良い生活の実現を目指す取組です。

市立病院では、主ながん治療に関連する緩和ケアに取り組んでいます。

IV 資料編

【アンケート調査票】

V. 江別市立病院に今後求められる医療機能の重要度について

問 28 市立病院が担うべき役割について

これまでの設問でご回答頂きました「市立病院に求められる医療機能」および「市立病院として今後注力したい医療機能」についてお伺いします。

今後、江別市の地域医療を充実させる上で、市立病院が担うべき役割として、最も重要だと思うものを5つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 外来診療(問10) | 10. 救急医療(問19) |
| 2. 入院診療(問11) | 11. 災害医療(問20) |
| 3. 在宅医療(問12) | 12. 感染症医療(問21) |
| 4. 精神疾患の診療(問13) | 13. 健診(問22) |
| 5. 脳卒中の診療(問14) | 14. 広域連携や産学官連携(問23) |
| 6. 急性心筋梗塞の診療(問15) | 15. がんの治療(問24～26) |
| 7. 糖尿病疾患の診療(問16) | 16. 緩和ケア(問27) |
| 8. 小児医療(問17) | |
| 9. 周産期医療(問18) | |



© 2022 Ebetsu City Hospital

IV 資料編

【アンケート調査票】

VI. 江別市立病院の経営再建(ロードマップ)の取組について

問 29 経営再建の取組に対する評価

市立病院では、令和2年度から4年度までを集中改革期間として、経営再建の取組を進めてきました。この経営再建の進捗状況について、皆さまの評価をお伺いします。

以下の6つの設問に対して、それぞれ①～⑤の中から1つを選んで、○印をつけてください。

	① 評価する	② やや評価する	③ あまり評価しない	④ 評価しない	⑤ わからない
1. 地域の医療機関との連携を強化し、救急医療など市立病院が担うべき医療の重点化を進める。					
2. 医師の招へいや看護体制の見直しを進め、診療体制を確立する。					
3. 地方公営企業法全部適用への移行などを進め、ガバナンスを強化し、経営体制を構築する。					
4. 一般会計による公費負担の適正化や財務基盤の強化を進める。					
5. 市民への分かりやすい情報提供に努め、広報活動の充実を図る。					
6. 収益を向上させるとともに、費用を削減し、収支均衡を実現する。					

【地方公営企業法】とは、都道府県や市町村が企業を経営する際のルールを定めた法律です。市立病院では、経営の自律性や柔軟性を高めるため、令和4年4月に地方公営企業法の「一部適用」から「全部適用」へ移行し、専任の事業管理者を置きました。事業管理者は、市立病院の最高責任者であり、組織や予算などに幅広い権限を有します。

【ガバナンス】とは、「統治・支配・管理」を意味する言葉です。一般的に、ビジネスではコーポレートガバナンスと呼ばれ、企業経営において公正な判断・運営がなされるよう、監視・統制する仕組みを指しますが、市立病院では「経営を規律し、統治する仕組み」という意味で用いています。

IV 資料編

【アンケート調査票】

Ⅶ. 江別市立病院の財政状況について

市立病院の財政状況について、市民の皆さまのご意見をお伺いします。
各項目について、それぞれ該当するものを1つだけ選んで、番号に○印を付けてください。

問 30 減資について

市立病院では、令和4年9月に「収支構造の見える化」を目的として、資本金を減少させ、累積欠損金と相殺する「減資」という手続きを行いました。
この結果、令和3年度末に117億円あった累積欠損金は、令和4年度末には約3億円まで圧縮されています。
市立病院では、この累積欠損金の早期解消に向けて、経営再建の取組を進めています。

市立病院が「減資」を行ったことをご存知でしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような取組は、市立病院の収支構造の見える化や、経営再建に対して貢献度が高いと思われますか。

1. 非常に高い 2. 比較的高い 3. 比較的低い 4. 非常に低い 5. わからない

【累積欠損金】とは、各年度の赤字(純損失)額を積み上げた数値であり、これが多いと赤字が続いていることを示します。継続的に黒字(純利益)を計上することで、累積欠損金を解消することができるほか、病院運営に必要な資金を確保できるようになります。

問 31 政策医療を確保するための財政支援について

市立病院は、市内で唯一の小児病床を有する病院であり、さらに、出産を取り扱うなど、市民生活にとって不可欠な医療を提供しています。これら、小児医療や周産期医療のほか、救急医療といった政策医療を担うため、市の一般会計から年間約14億円の財政支援を受けています。

市立病院がこのような財政支援を受けていることをご存知でしたか。

1. 知っている 2. 知らなかった

このような財政支援について、もっとも近い考え方をお選びください。

1. 経営健全化を進め、現状の財政支援の水準の中で必要な政策医療を確保すべきである。
2. 必要であれば財政支援を増額し、地域で求められる政策医療を確保すべきである。
3. 政策医療の確保を民間に委ねるなど必要な見直しを行い、財政支援を減額すべきである。
4. その他（※ご意見をP.13「Ⅷ.その他」にご記載ください。）
5. わからない

IV 資料編

【アンケート調査票】

Ⅷ. その他

市立病院の経営や運営、地域で担うべき役割などについてご意見、ご要望などございましたら、ご記載いただきますようお願いいたします。

アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。
本アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、2023年7月21日(金) までに、ポストに
投函いただきますようお願いいたします。(当日消印有効)



© 2022 Ebetsu City Hospital

江別市立病院

医療と経営についてのアンケート調査結果

令和5(2023)年10月
江別市立病院 事務局管理課経営推進担当
〒067-8585 江別市若草町6
電話 (011)382-5151(代表)
<https://www.ebetsu-hospital.jp/>
